

特
道
類
D
一

五月五日接受

取調

外
國
人
土
地
貸
渡
之
儀

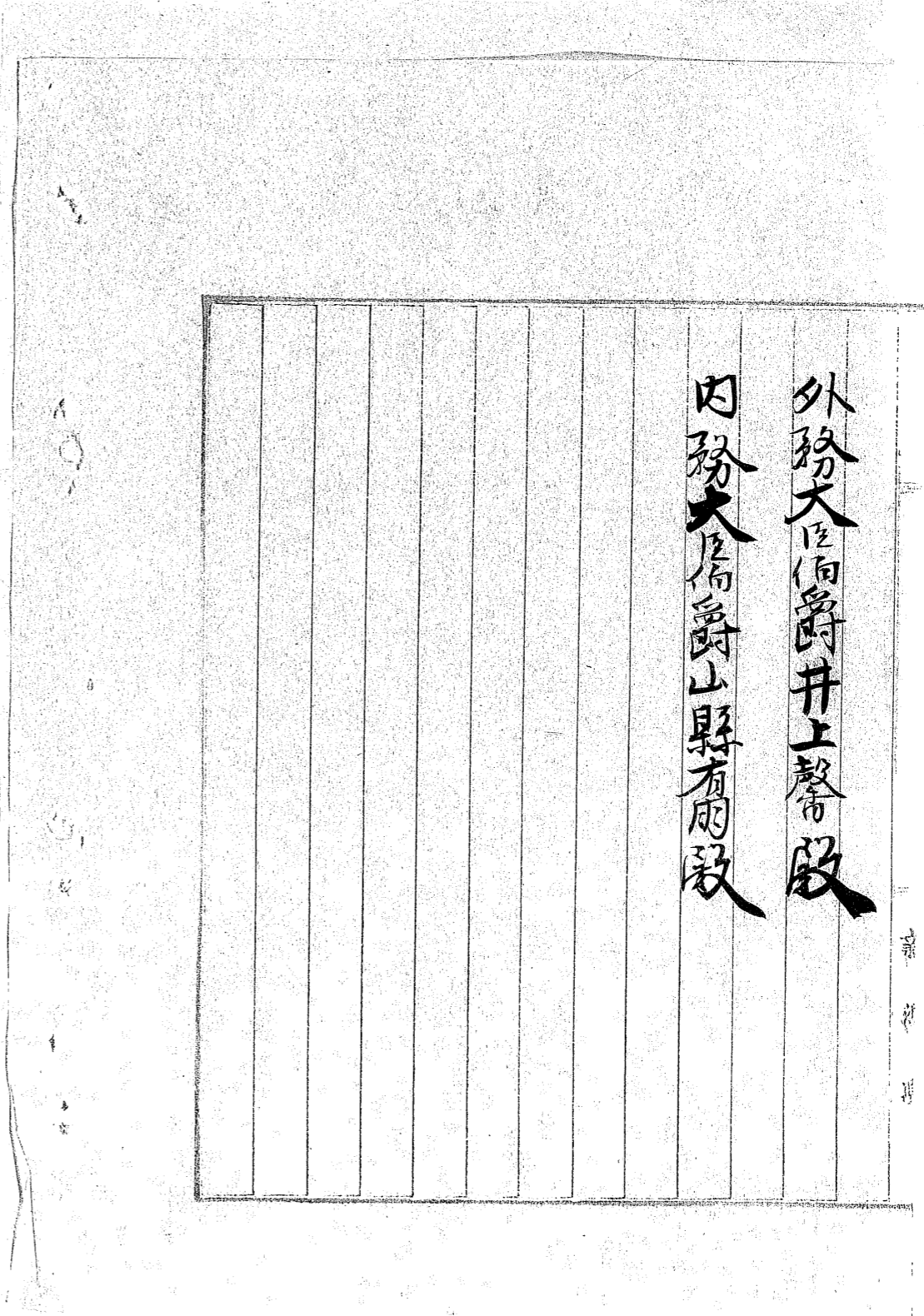
受
第
三
一
七
號

新
潟
寄
留
松
井
有
三
所
有
地
新
潟
在
留
米
國
人
ロ
バ
ル
ド
ヘ
シ
リ
ー
デ
ビ
ス
ハ

貸借條約候儀
出取調候儀
稅區費等貸主
音明記有之候
條別紙條約書
往届候也
新
潟
縣
令
篠
崎
五
郎

明治九年五月七日

新
潟
縣
令



3-2784

0367

別紙

地所貸借條約承認可願

新潟県寺家通寺家町寺家地
寄附岡山縣平民

松井有三

新潟県寺家町通寺家地居

未國人

ヘンリー・デビス

右松井有三所有ノ空地寺家町通第百五十二番
ハ地積約五丁二百廿五方為延名三百方坪
ハ方ヘンリー・デビスノ貸渡スニ付別紙條約
書ノ如ク取結度此後承認可致余下ノ様
幸願ス也

新潟縣

右

松井有三印

明治十九年四月五日

右

ヘンリー・デビス印

新潟縣令松橋崎五郎殿

右書願出之趣相達無之候也

新潟區長安田正彦印

別紙

交換條約書

松井有三所有ノ空地新潟迅學校町直
第五千二百八十一番ヨリ五千二百八十六
番迄都合六ヶ所ノ地面今般米國人
ロベルドヘンリーデビスノ貸渡スニ付
結約スル丁左ノ如シ

第一條

前記六ヶ所ノ空地合三百六坪八合ヲ基
督紀元一千八百八十六年即明治十九年四月一
日ヨリ一千九百十一年即明治三十四年三月三
十一日迄滿二十五年間松井ヨリデビスヘ
貸渡ス事

新潟縣

第二條

茲テ地所ニ係ル日本政府ノ制定セラ
ル、法度ハ堅ク相守ルヘキ事

第三條

家作建物等ヲナスルハ地方道路幅
負ノ制度ニ遵フヘキ事

第四條

該地面ニ借主所有ノ家屋アルニテ万一
鐵道或ハ道路變換掘割等ノ如キ公同
利益ノ為地所ヲ要スルハ六月以前
ニ報知アレハ板令約定期限中タリ
ニ此返地スヘシ尤費用ノ如キハ双方ヨ
リ評價人ヲ撰ビ金高ヲ定メ被害者ヘ

申受可キ事

第五條

貸借期限中談地面ニアル家屋ヲ他ハ譲與或ハ賣却又ハ貸渡ニ等ヲナシ他入地所ヲ借受前條約ノ終繼續スル中ハ其旨地方廳へ届出可キ事

第六條

貸借期限中借主ニ於テ出所敷増ヲナシ満期解約ノ節談出所ハ其終差置キ申ス可キ事

第七條

借主ヨリ敷金トシテ金一千円ヲ貸主へ預置満期解約ノ節借主へ差返ス可

新潟縣

三万一調達差支ルニ於テハ談宅地ヲ悉皆公賣ヲナシ其代價ヲ以テ返金致ス可キ事

第八條

借地料ハ一ヶ年金二十五円ト定メ毎歲貸主へ前拂ニ致ス可シ尤談地所ニ係ル地租地方税區費等ハ悉テ貸主ニ於テ負擔ス可キ事

第九條

貸借期限中談地所ヲ係リ自他トモ負擔トナル可キ金錢ノ借入ハ曾テ敷不問敷事

第十條



貸借期限中タリハ貸主ノ都合ニヨリ談
地所ヲ他へ賣渡スルハ驚ト協議ノ上
本條約ハ引續ニ取計ヲ可シ且其旨地
方廳へ届出可キ事

第十一條

貸借約定満期ニ至リ時宜ニヨリ猶引
續キ貸借ヲナス丁モアル可シ其節ハ
更ニ地方廳へ届出可キ事

第十二條

貸借條約書ハ和英文六通ヲ製シ各
通ツ、ヲ双方へ留置一通ツ、ハ地方
廳へ差出置事

第十三條

右之條々違背之レナキ為ノ双方トモ署
名捺印スルモノ也

新潟縣

日本帝國岡山縣平民

當時新潟縣新潟區寺裏通
吉番町廿七番地寄留

松井有三印

Robert Henry Austin
City of N. S. W.

第十四類
通
特D

明治十九年五月六日
起草
同日發遣

關口
五月六日發遣

取調局長
松山

送第二〇四號

内務大臣秘書官中山寛六郎殿 外務省取調局長鳩山和夫

外國人ノ土地貸渡ノ義ニ付新瀉縣ヨリ別紙

ノ通リ届出有之候度右ノ内務外務兩大臣宛ニ

相成居候間該届書及ヒ之ニ附帶スル條約書

十九年五月七日編輯課接覽

外務省

一 部 宛 送 及 之 候 也
宛 在 手 紙 也

第九

内務省

二十二年十月十二日 陸軍部 内務省

政務録

天

地

新上巻三九二号
新瀉港ニ於テ外國人、貸地解
約ニ儀、付別紙寫之通、同縣知
事ヨリ貴大臣連名ニテ届出有
右字及送付也

明治廿二年十月十一日

内務大臣伯爵山縣有朋

外務大臣伯爵大隈重信殿

二十二年十月十五日 陸軍部 内務省

内務省

41-1

別紙

第九百十五号

外國人へ貸地解約ノ義御届

新潟市大字学枝町通吉番町ノ土地所有主松井有三ヨリ
新潟在苗米國人ロバルドヘンリーデビスへ私約貸渡ノ
義明治十九年五月三日第十三号ヲ以テ致御届置候處今
般都合ニヨリ解約致候旨届出候間以段致御届候也
明治二十二年十月二日

新潟縣知事 篠崎五郎

内務大臣 伯爵 松方正義 殿

外務大臣 伯爵 大隈重信 殿

内務省